

図画工作科学習指導案

指導者 石井 正記

1 学 年 第3学年 22名

2 場 所 奥田元宋・小由女美術館 小由女展示室

3 題材名 すてきだね！さゆめさんの人形たち 【領域】「みる」「つくる」

4 題材について

題材観

本題材は、学習指導要領に示された次の目標と指導内容を受けて設定した。

	第3学年及び第4学年の目標	第3学年及び第4学年の指導内容
A 表現	(2)材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。	(2)イ 表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画を立てるなどして表すこと。 (2)ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表し方を考えて表すこと。
B 鑑賞	(3)身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。	(1)ア 自分たちの作品や身近な美術作品や製作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取ること。 (1)イ 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じの違いなどが分かること。
(共通事項)	ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、組合わせなどの感じをとらえること。 イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。	

本題材では、奥田元宋・小由女美術館において小由女さんの人形作品を鑑賞し、そこから着想を得て、自分ならではの工夫を生かした人形を制作する。

奥田元宋・小由女美術館には、小由女さんの作品が常時20点近く展示されている。その多くは、色彩豊かな女性の立像である。慈愛に満ちた眼差しと華やかな衣装、優美な手のしぐさが相まって、神秘的な美しさを感じさせる。そのよさや美しさは、3年生にも十分感じ取ることができるもので、児童は意欲的に鑑賞活動に取り組めることだろう。

美術館で小由女さんの作品を鑑賞した後は、学校に戻ってから児童一人一人が人形を制作する。小由女さんの人形は主に樹脂で出来ているが、樹脂の扱いは児童には難しいので、ペットボトルやガラス瓶を芯材に用いて、それに紙粘土を貼り付ける方法をとる。形や色といった芯材の特徴を基に、小由女作品から学んだことを生かして（人形の表情や手の動き、衣装のデザイン等）、自分のつくりたい人形を考える。人形は立体表現であり、前後左右いろいろな角度からみたときのことを考えてつくりなくてはならない。そのため児童は、人形づくりを通して、多角的なものの見方を養うことができるであろう。

このように本題材は、表現と鑑賞をひびき合わせ、互いの学習効果を高めることが期待できる題材である。

本題材で児童に「つけたい力」は次の通りである。

- ・小由女作品のよさや美しさを感じ取り、自分の人形をつくることに進んで取り組もうとする態度 【感じる力】
- ・芯材（ガラス瓶やペットボトル）の特徴を基に、つくりたい人形を思いつく力 【考える力】
- ・芯材の特徴を生かした紙粘土のつけ方や色の塗り方を工夫して人形をつくる力 【つくる力】
- ・小由女作品や友人の作品をみて、表現の工夫、形や色のよさや美しさを感じ取る力 【みる力】

児童の実態

本学級の児童は、1学期に奥田元宋・小由女美術館を訪れた。その時は、企画展「浮世絵猫づくし」を鑑賞することが主な目的で、小由女作品は短時間観て回っただけだったが、小由女さんの作品は児童の心に強い印象を与えたようだ。美術館見学の感想には、小由女作品に関する記述がかなりあった。そこで、小由女作品に対する児童の意識を質問紙で調査したところ、次のような結果になった。

調査人数 22人	単位(人)	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
美術館は好き。		20	2	0	0
奥田小由女さんの作品は好き。		19	2	1	0
人形をつくってみたいと思う。		12	8	1	1
紙粘土を使った工作は好き。		16	6	0	0

小由女作品に対する児童の興味関心は高い(特に「月の別れ」という作品に対する感想が多かった)。それに「人形を制作してみたい」という気持ちもかなり強い。

本学級の児童は、1学期に「鳥獣戯画」を対話型で鑑賞する体験をしている。多くの児童が活発に発言し、「鳥獣戯画」のよさや面白さを感じ取ることができた。学習後の意識調査でも、児童の満足度はかなり高かった。

指導観

指導に当たっては、次のような手立てを講じていきたい。

〔感じる力を育てる手立て〕

美術館を訪れる前に学校で、小由女さんの人形作品を線画で表したものに着色する活動を行う。そのことを通して、美術館で小由女作品を鑑賞する際の視点を与え、鑑賞の意欲を高めたい。

また鑑賞の後、人形制作へ意識を向けるために、教師が用意した数例の参考作品(芯材に紙粘土をつけてつくった人形)を提示する。児童がつくる作品は、つくり方や出来上がりなど、小由女作品とはかなりちがうものになるが、その作品なりのよさがあることをしっかり捉えさせた上で、人形制作に臨ませたい。

〔考える力を育てる手立て〕

ワクワクボックスにたくさんのガラス瓶やペットボトルを集めておき、そこから芯材を選んで構想を練らせる。自分が納得できるまで、何通りもアイデアスケッチを描かせて、発想を広げるようにさせたい。その際、小由女作品を鑑賞して学んだことを、できるだけ活用するようにさせたい。

〔つくる力を育てる手立て〕

人形作品において表情と手の動きは大変重要である。様々な表情を工夫できるように、ペットボトルのキャップ部分の特徴を生かして、いくつかの頭部を取替え可能にさせる。また、手の動きを工夫させるために、針金を芯材として用いる(場合によっては、針金をむき出しにして腕を可動式にする)。ルックルックタイムを適時設けて、友人との意見交流によって表現をさらに豊かにしていきたい。

〔みる力を育てる手立て〕

美術館では、「森のシンフォニー」と「月の別れ」の2作品を対話型で鑑賞する。人物の表情や手の動き、題名などに着目させて、「見つけたこと」から「感じたこと」「考えたこと」へと鑑賞を深めさせていきたい。その際、美術館の学芸員さんとTT体制を組み、作品の背景や作者などの知識的なことについて、学芸員さんから語ってもらうようにしたい。

「森のシンフォニー」と「月の別れ」を鑑賞した後は、展示されている20近くの作品から自分のお気に入りを選び、感じたことや思ったことを交流する活動を仕組んで、鑑賞の力を高めていきたい。

5 題材の目標

- 小由女作品のよさや美しさを感じ取り，自分の人形をつくることに，進んで取り組む。
- 芯材の特徴を基に，小由女作品を参考にしながら，どんな人形をつくるか考える。
- 小由女作品や友人の作品をみて，表現の工夫，形や色のよさや美しさを感じ取る。
- 芯材の特徴を生かした紙粘土のつけ方や色の塗り方，人形の表情や手の動きを工夫する。

6 題材の評価規準

ア 造形への関心・意欲・態度（感じる力）	イ 発想や構想の能力（考える力）	ウ 創造的な技能（つくる力）	エ 鑑賞の能力（みる力）
小由女作品のよさや美しさを進んで感じ取ろうとしている。 芯材の特徴を生かした人形づくりに進んで取り組もうとしている。	芯材の特徴を基に，小由女作品を鑑賞して学んだことを生かした人形を思い付いている。	芯材の特徴を生かした紙粘土のつけ方や色の塗り方を工夫している。 自分の思いが表現できるよう，表情や手の動きを工夫している。	小由女作品をみて，表現の工夫，形や色のよさや美しさを感じ取っている。 友人の作品をみて，表現の工夫，形や色のよさや面白さを感じ取っている。

7 指導と評価の計画（全6時間）

次	学習内容 （時数）	評 価					
		ア	イ	ウ	エ	評価規準	評価方法
一	○教室で，小由女作品についての思いを話し合う。（1）					・「美術館で小由女作品を鑑賞したい」という意欲が高まっている。	発言 小由女作品の線画（児童が着色したもの）
二	○美術館で，小由女作品を鑑賞する。（1） 【本時】	○				・小由女作品のよさや美しさを進んで感じ取ろうとしている。 ・小由女作品をみて，表現の工夫，形や色のよさや美しさを感じ取っている。	発言 行動観察 ワークシート
三	○教室で，自分がつくりたい人形のアイデアを考える。（1）					・芯材の特徴を基に，小由女作品を鑑賞して学んだことを生かした人形を思いついている。	アイデアスケッチ
四	○紙粘土のつけ方や表情，手の動きを工夫して人形をつくる。（2）					・芯材の特徴を生かした紙粘土のつけ方や色の塗り方を工夫している。 ・自分の思いが表現できるよう，表情や手の動きを工夫している。	作品 行動観察
五	○友人の作品を鑑賞する。（1）					・友人の作品をみて，表現の工夫，形や色のよさや面白さを感じ取っている。	発言 ワークシート

8 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・小由女作品を鑑賞して、表現の工夫、形や色のよさや美しさを感じ取る。

(2) 本時の評価規準

小由女作品をみて、表現の工夫、形や色のよさや美しさを感じ取っている。

【鑑賞の能力】

- 小由女作品のよさや美しさを進んで感じ取ろうとしている。

【関心・意欲・態度】

(3) 準備物

〔指導者〕

- ・「鑑賞の視点」を記した掲示物、作品の題名を隠すための紙、ふり返しカード

〔児童〕

- ・スケッチブック（小由女作品の線画とワークシートをはり付けたもの）

(4) 学習展開

学習活動	指導上の留意点（支援を要する児童への手立て）	評価規準（評価方法）
1 本時の課題を確認する。		
さゆめさんの作品をみて、すてきなところを見つけよう。		
2 「森のシンフォニー」を鑑賞する。（題は隠しておく） ○何を見つけましたか。 ・花がたくさんあります。 ・人と鳥がなかよしです。 ・やさしそうな表情です。 ・この作品をみていると、やさしい気持ちになるよ。 ・題は「森となかよし」がいいと思います。	・児童の発言を関連づけたり、構成したりして、「みえたこと」から「感じたこと」「考えたこと」へと、見方を深めさせていく。 【児童の意欲を高める言葉がけ】 「服にも花があるね。」 「鳥は人がこわくないのかな。」 「この人たちは、どんな関係かな。」 「この作品に題をつけてみよう。」 見つけたことをペアで話し合わせる。 【児童の意欲を高める言葉がけ】 「手の動きをやってみよう。」 「白い服を着るのはどんな時かな。」 「だれかと別れたから悲しいのかもしれないね。」 ・作品の背景や作者などの知識的なことについて、学芸員さんから話してもらう。	・小由女作品をみて、表現の工夫、形や色のよさや美しさを感じ取っている。 【鑑賞の能力】 （発言・行動観察）
3 「月の別れ」を鑑賞する。 ○何を見つけましたか。 ・うでが6本あるよ。 ・この作品だけ服が白いね。 ・頭の後ろにあるのが月かな ・表情が少し悲しそうだね。	【児童の意欲を高める言葉がけ】 「手の動きをやってみよう。」 「白い服を着るのはどんな時かな。」 「だれかと別れたから悲しいのかもしれないね。」 ・作品の背景や作者などの知識的なことについて、学芸員さんから話してもらう。	
4 自分のお気に入りの作品を見つける。 ○お気に入りの作品はどれですか。 ・わたしは、「創生」が好きです。女の子が人魚みたいでかわいいです。	・その作品を気に入った理由をワークシートに書かせる。それを個別に評価してから一人ずつ発表させる。 - 友人のワークシートをみて参考にさせる。	・小由女作品のよさや美しさを進んで感じ取ろうとしている。 【関心・意欲・態度】 （ワークシート・発言）
5 本時の学習をふり返る。	・ふり返しカードに自己評価させる。	